



台風対策

令和7年9月3日(水)
京都府南丹農業改良普及センター

台風が来たら屋外で作業するのは危険です。慌てることがないように、事前にしっかり対策しておきましょう。

1 水稻



(1) 通過前

- ①強風による倒伏や葉の乾燥などを防ぐため、深水管理に努めるとともに、稲が水没しないよう、あらかじめ排水口を調節しておく。
- ②既に刈取適期になっているものは、速やかに刈り取る。

(2) 通過後

- ①滞水している場合は、速やかにほ場の排水に努める。
- ②穂いもちの発生状況に注意し、適切に防除を行う。
- ③品質低下の防止のため、成熟期に達し、倒伏した稲はできるだけ早く刈り取る。特に、キヌヒカリ等穂発芽しやすい品種を優先して刈り取る。

2 豆類



(1) 通過前

- ①豆類は湿害に弱いため必ず排水路、排水口等の点検を行い、ほ場内に滞水させないようにする。
- ②黒大豆は、支柱・ビニールひも等による倒伏防止対策を行う。

(2) 通過後

- ①黒大豆・小豆では、倒伏して茎や莢が地面についていると腐敗するので、その部分を直ちに起こす。その後、腐敗防止のため、殺菌剤の散布を行う。
- ②浸冠水した場合は速やかにほ場の排水を図り、病虫害防除を行う。特に、小豆については茎疫病の防除のため殺菌剤の散布を行う。

3 野菜・花き類

(1) 通過前

①施設栽培

[ハウス内への風の吹き込みを防止する!]

- ・ハウスバンドをしっかり締め直す。
- ・パッカーやスプリングを使ってビニール固定を補強し、隙間をしっかりふさぐ。
- ・風に飛ばされたものがハウスに当たって破損する場合が多いので、周囲をよく整

次ページに続く

理し、風に飛ばされやすいものは片付けておく。

[ハウスの強度を知る！]

- ・所有するハウスが耐えられる風速の目安を確認する。
- ・ハウスの耐風強度を超える暴風が予想される場合は、骨材を守り、被害を軽減するため、風が強くなる前に、ビニールの引き落とし、巻き上げ（アーチパイプの露出）を行う。

※詳しくは『園芸ハウス台風対策マニュアル』をご参照ください。

下記のリンクからダウンロードできます。

<http://www.pref.kyoto.jp/nosan/news/engeihousetaisaku.html>

②露地栽培

- ・支柱やフラワーネットを点検して補強し、しっかり固定する。
- ・直播きでまだ生育初期のものは、被覆資材等で茎葉を押さえる。その際、被覆資材は風にあおられないようにしっかり固定する。
- ・ほ場が冠水しないよう、排水路を整備する。

(2) 通過後

- ・滞水している場合は、速やかにほ場の排水に努める。
- ・液肥（500～1,000倍）を施用し、草勢の早期回復を図る。
- ・雨による傷から病原菌が侵入し、病害の発生が予想されるため、こまめに観察し発生初期に防除を行う。
- ・収穫可能なものは速やかに収穫し、また、播種直後で発芽不良の場合はただちに播き直しを行う。

4 果樹

(1) 通過前

- ①収穫できる果実は、できるだけ収穫しておく。
- ②果樹棚やハウス（雨よけ含む）は、断線や被覆が破れないように、補強する。

(2) 通過後

- ①落下した果実は、園外に持ち出して処理する。
- ②ブドウではべと病、ナシでは黒斑病、モモではせん孔細菌病、カキでは炭疽病等の発生が予想されるので、殺菌剤を散布する。
- ③冠水した場合は、速やかにほ場の排水に努める。
- ④主枝等が折れた場合は鋸等で折れ口をなめらかに切り戻して、癒合剤を塗布する。
不完全に折れた場合は枝を固定し、癒合面が乾燥しないようにビニール等で覆う。